

ICカード乗車券利用体験 による高齢者のバス利用促進

「楽しいおでかけ」と「便利なカード」

で高齢者の外出をサポート

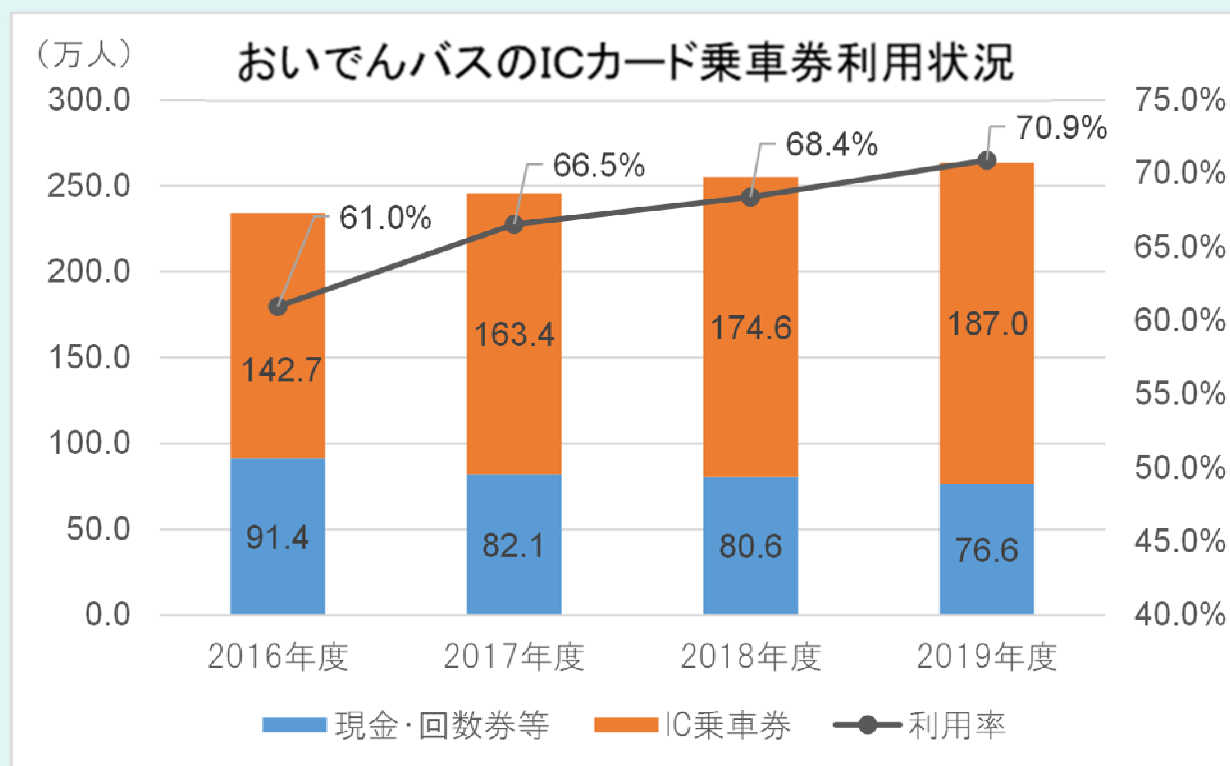
（そしてバス利用を促進する！）

（公財）豊田都市交通研究所
豊田工業高等専門学校
豊田市都市整備部交通政策課

山崎基浩（yamazaki@ttri.or.jp）
野田宏治／山岡俊一／廣中啓吾（R2年3月卒）
黒谷和男／大富有紀子

取組みの背景と目的

- ICカード乗車券は乗降把握や利用者利便の面で有用
- 豊田市では「とよたおいでんバス」にICカード乗車券(manaca)を導入
- 高齢者へのICカード乗車券利用普及が、バス利用促進につながるのではないか？

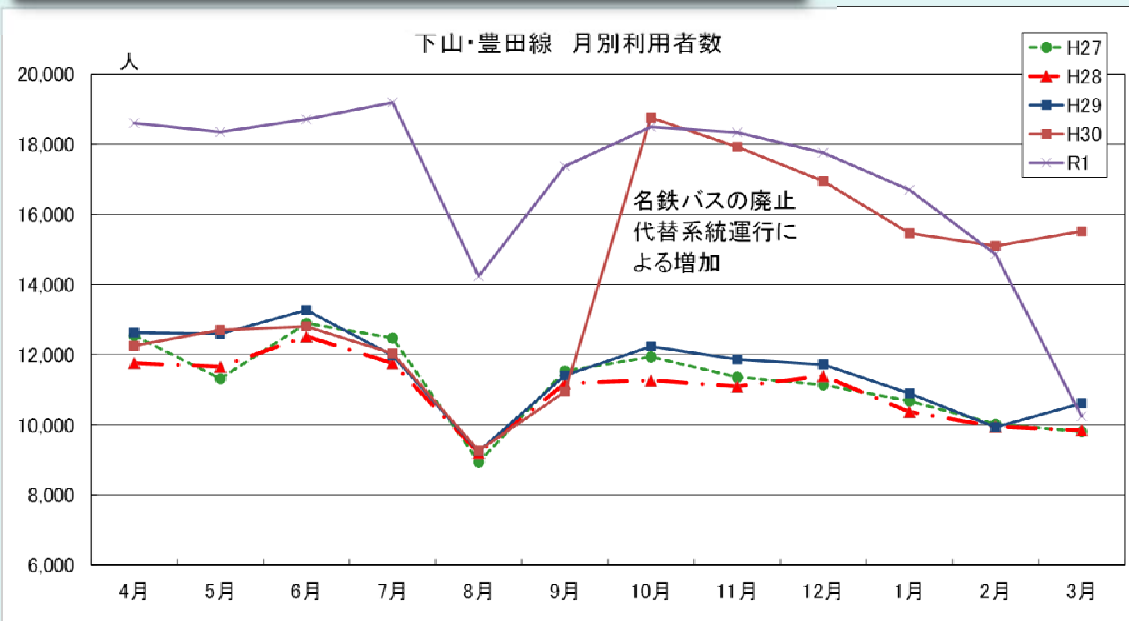
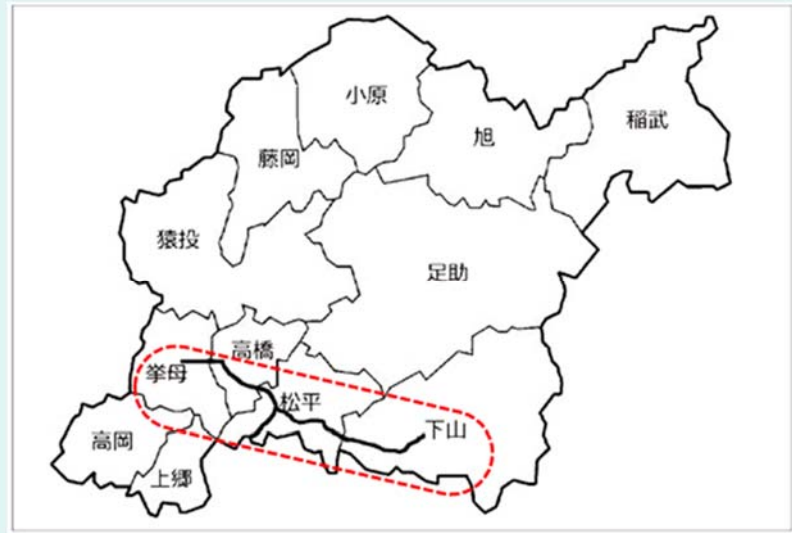


- 乗車体験を通じてIC乗車券の利用方法を高齢者に理解してもらう
- おでかけ目的を提供し、バスでの移動に「楽しい経験」を重ねてもらう
- 併せて地域バス(区域運行デマンド)の予約・利用方法を知ってもらう
- 高齢者の地域コミュニティ活動と連携し「クチコミ」波及効果を期待

- 高齢者を対象に基幹バス・地域バスの「体験乗車会」を実施
- 参加謝礼としてIC乗車券を提供し利用方法を説明した上で乗車体験
- アンケート調査(当日+事後)およびヒアリング(当日)により効果検証
- 脱クルマ(免許返納)の意向も含め、課題整理

対象地域と路線

とよたおいでんバス「下山・豊田線」



地域バス「しもやまバス」

しもやまバス

平成29年3月発行

運行時間 平日 午前6時～午後8時 (運休日 土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日))

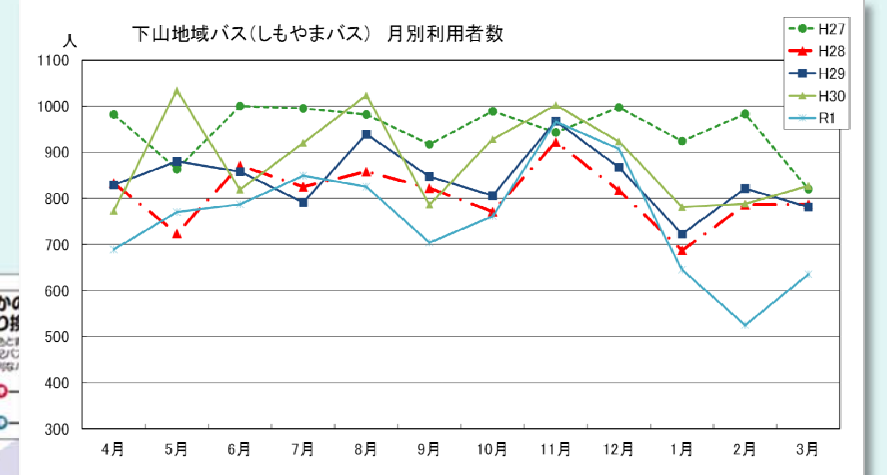
運賃 大人(中学生以上) 200円 小学生・障がい者 100円 未就学無料

利用方法 電話で「予約」してください。予約先 TEL (0565) 91-1200

早朝当日キャンセル (受付時間前の専用電話) 080-2657-0135

ほかの乗り場 予約センター

花山自治区	大沼自治区	三巴自治区	和合自治区	田平沢自治区	羽布自治区	阿蔵自治区
101 下山 102 下山 103 下山 104 下山 105 下山 106 下山 107 下山 108 下山 109 下山 110 下山 111 下山 112 下山 113 下山 114 下山 115 下山 116 下山 117 下山 118 下山 119 下山 120 下山	201 大沼 202 大沼 203 大沼 204 大沼 205 大沼 206 大沼 207 大沼 208 大沼 209 大沼 210 大沼 211 大沼 212 大沼 213 大沼 214 大沼 215 大沼	301 三巴 302 三巴 303 三巴 304 三巴 305 三巴 306 三巴 307 三巴 308 三巴 309 三巴 310 三巴	401 和合 402 和合 403 和合 404 和合 405 和合 406 和合 407 和合 408 和合 409 和合 410 和合 411 和合 412 和合	501 田平沢 502 田平沢 503 田平沢 504 田平沢 505 田平沢 506 田平沢 507 田平沢 508 田平沢 509 田平沢 510 田平沢	601 羽布 602 羽布 603 羽布 604 羽布 605 羽布 606 羽布 607 羽布 608 羽布 609 羽布 610 羽布	701 阿蔵 702 阿蔵 703 阿蔵 704 阿蔵 705 阿蔵 706 阿蔵 707 阿蔵



- 平成17年に豊田市に編入合併された下山地域(旧下山村)を対象(人口:約4,500人/世帯数:約1,650世帯/高齢化率:約30%の中山間地域)
- 「ふれあい地域サロン」の活動が活発 ⇒ サロン単位での乗車会(仲間で楽しく)
- 豊田市中心部への基幹路線「とよたおいでんバス 下山・豊田線」(25便/日)
- 地域内を運行するデマンドバス「しもやまバス」(電話予約により運行)

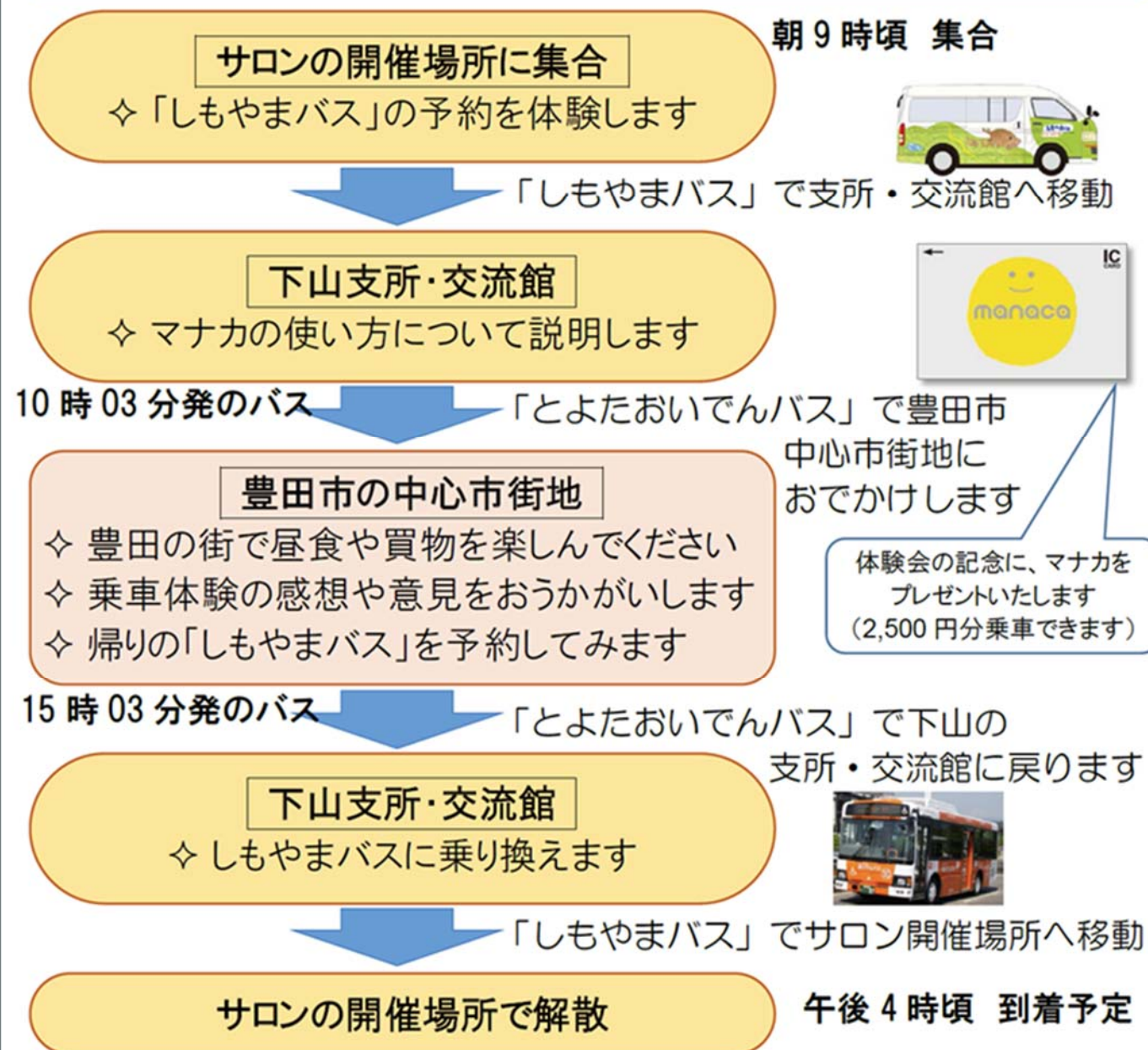
体験乗車会の概要

	実施内容
1) 集合・説明	地区の公民館等に集合 地域バスの予約・乗車方法説明 IC乗車券の利用方法説明 アンケート回答
2) 地域バス乗車	しもやまバスで下山支所まで移動
3) 基幹バス乗車	基幹バスで中心市街地へ(約50分)
4) グループインタビュー	室内でアンケート回答 フリーディスカッションで乗車の感想やバス, 交通に関する意見を収集
5) 中心市街地で自由行動	昼食および自由行動 公共施設の見学など自由参加の企画を提供
6) 基幹バス乗車	豊田市駅バス乗降場に集合し復路の基幹バスに乗車し支所へ移動
7) 地域バス乗車解散	支所から地域バスにて地区の公民館へ

- 便利な道具 ⇒ ICカードの便利さを体験
- お得な道具 ⇒ 買物でも使えてポイント獲得
- 楽しい体験 ⇒ サロンの仲間とのバスの旅(映画館や能楽堂の見学もオプション提供)
- 困惑させない ⇒ 高専生が道中アテンド(乗車、車中、降車、市街地案内まで)

とよたおいでんバス・しもやまバス 体験試乗会のご案内

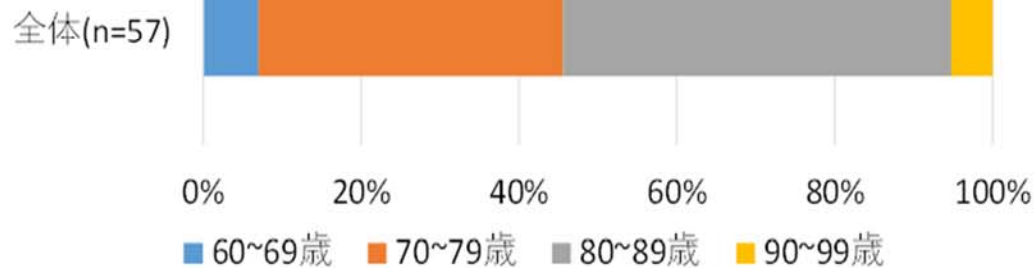
ICカード乗車券 manaca (マナカ) を使って 豊田の街に出かけてみませんか?



- 開催予定日は 10 月～12 月の水曜日と木曜日です。(別紙の申込書参照)
- サロンでの参加を募集します。参加を希望されるサロン代表者は、社会福祉協議会下山支所に申込書(別紙)を提出してください。(FAX:0565-90-2419 担当:鈴木)
- 問合せ先: 豊田都市交通研究所(電話 0565-31-7543 担当:山崎)
- 後日、主催者から改めてご連絡し、日程調整等いたします。
(主催:豊田市役所交通政策課、豊田工業高等専門学校、豊田都市交通研究所)

参加した方々

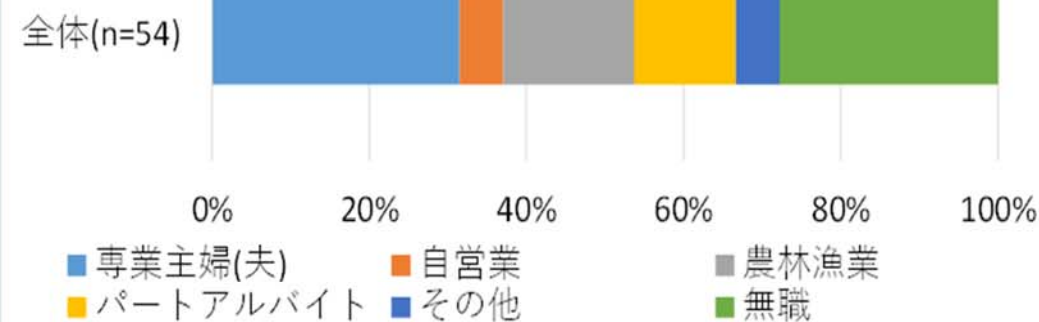
【年齢】



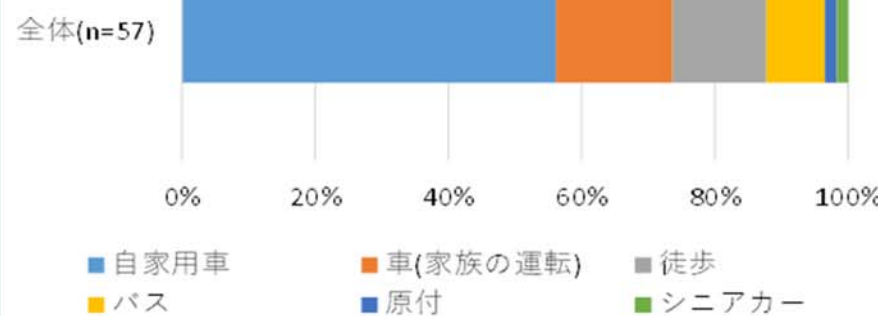
【運転免許の有無】



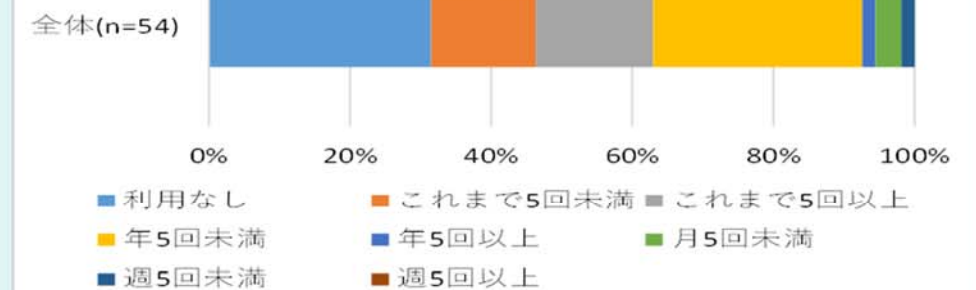
【職業】



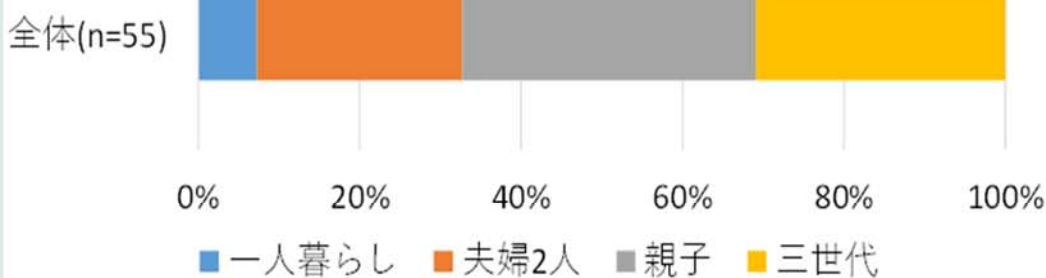
【主な交通手段】



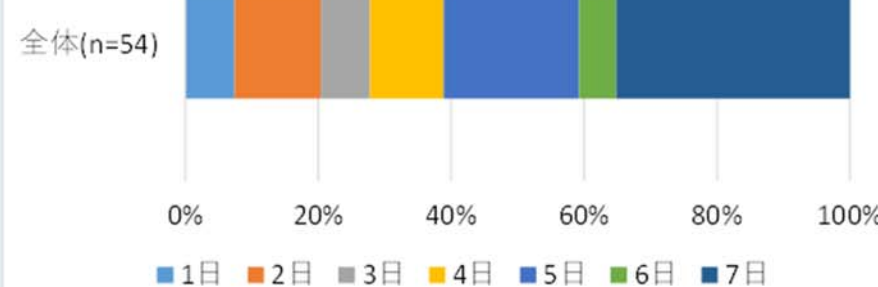
【基幹バス(下山・豊田線)の利用状況】



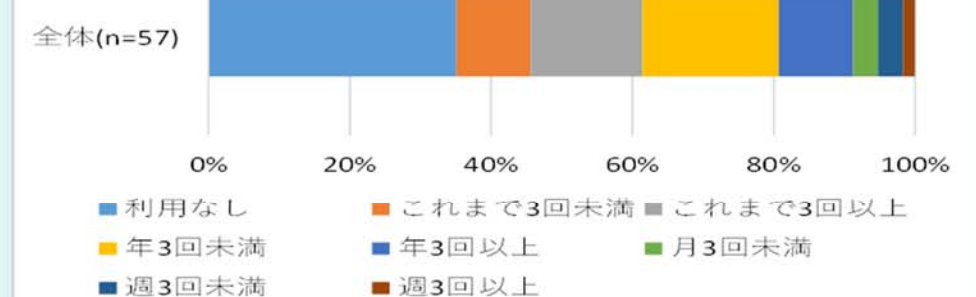
【世帯構成】



【外出頻度】



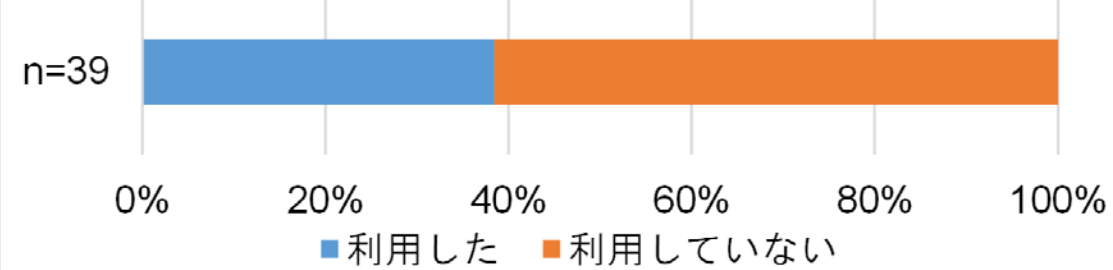
【地域バス(しもやまバス)の利用状況】



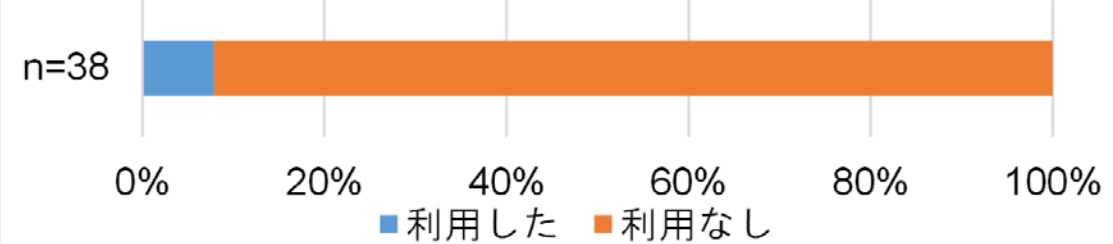
- 6回の乗車会を開催し57名が参加(6サロン+クチコミによるグループ)
- 80歳代が最も多く49%を占め、次いで70歳代が39%(55名が女性)
- 80%弱が運転免許を所有し、主な交通手段が自家用車(運転)が60%弱
- 基幹バス、地域バスの利用経験者はどちらも70%弱程度

乗車会参加後の交通行動変化は？

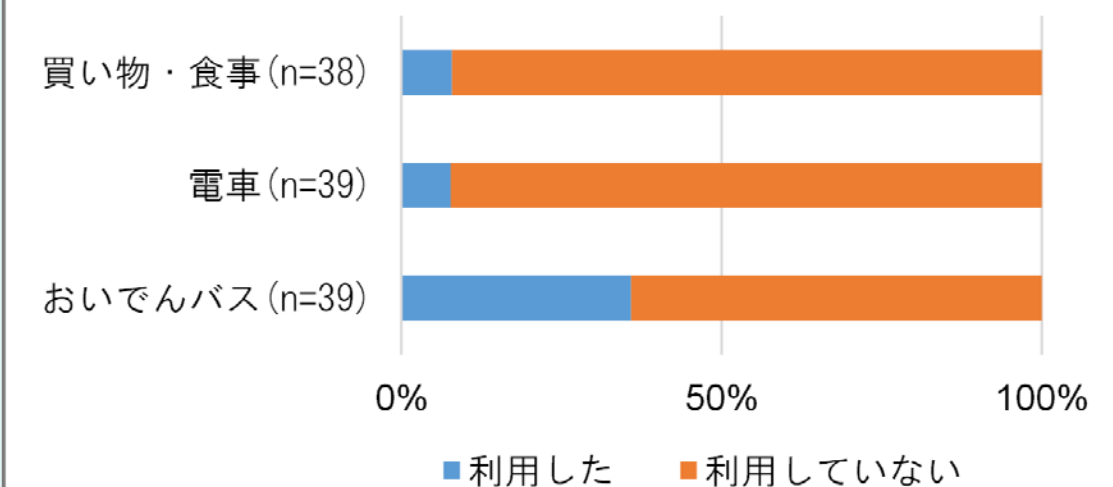
乗車会後に基幹バスを利用した？



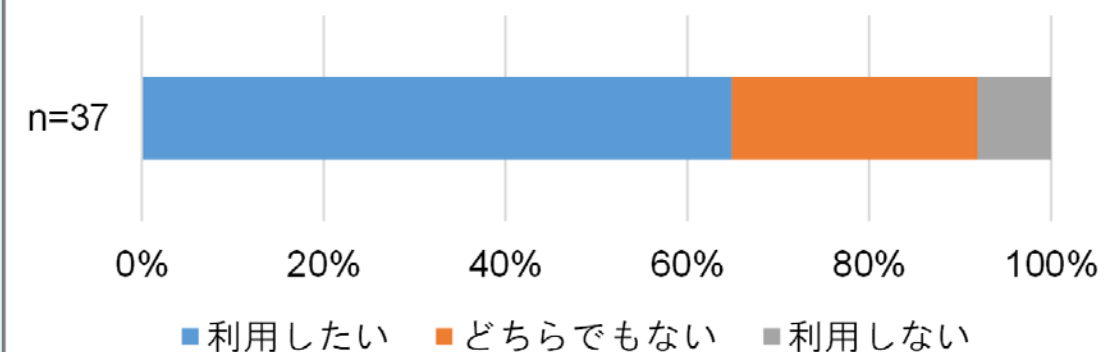
乗車会後に地域バスを利用した？



乗車会後に manaca を利用したか？

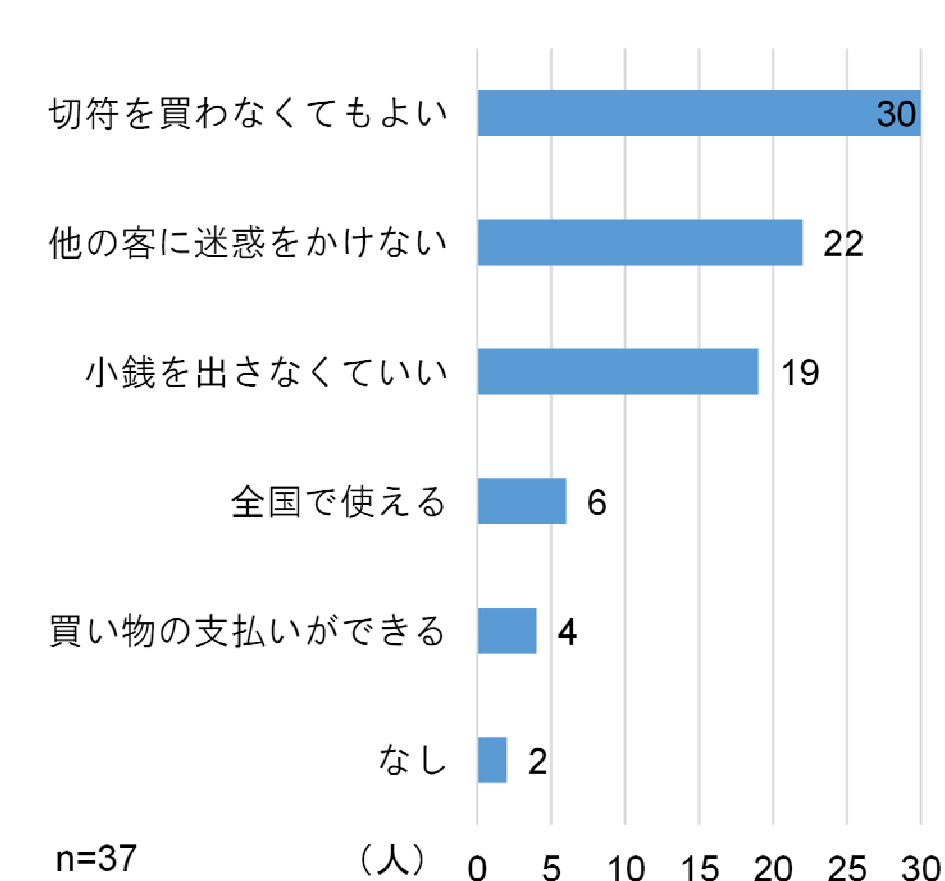


今後の manaca の利用意向



- 乗車会から1～2ヶ月後に事後調査を実施（サロンを訪問し面着で調査票記入）
- 基幹バスは15名が利用し、そのうち2名が新規利用者
- 地域バスは従来からの利用者(3名)のみが事後に利用

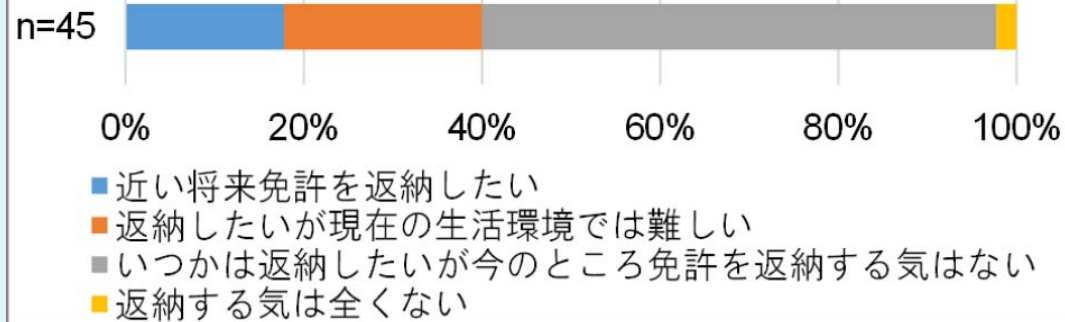
IC乗車券 (manaca) の評価



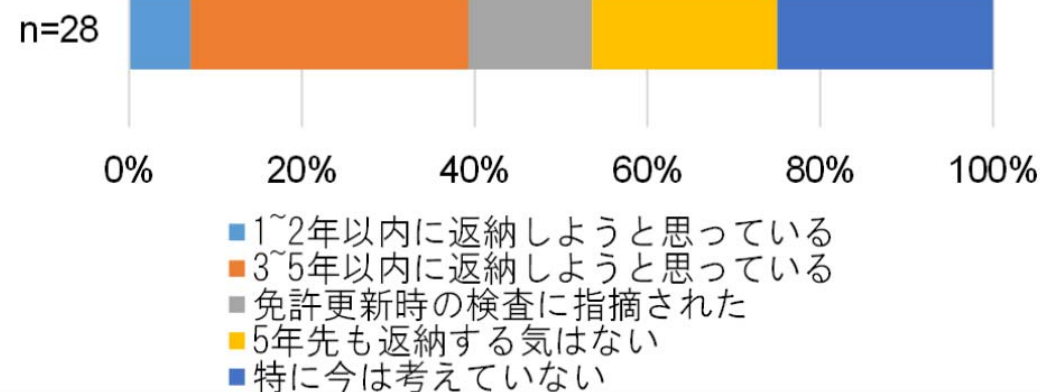
- IC乗車券の利点を認識しつつも利用していない人が多数（利用者15名）
⇒「一人で使う自信が無い」という発言も聞かれた
- 6割以上が「今後も利用したい」意向

自家用車の運転に関する意識

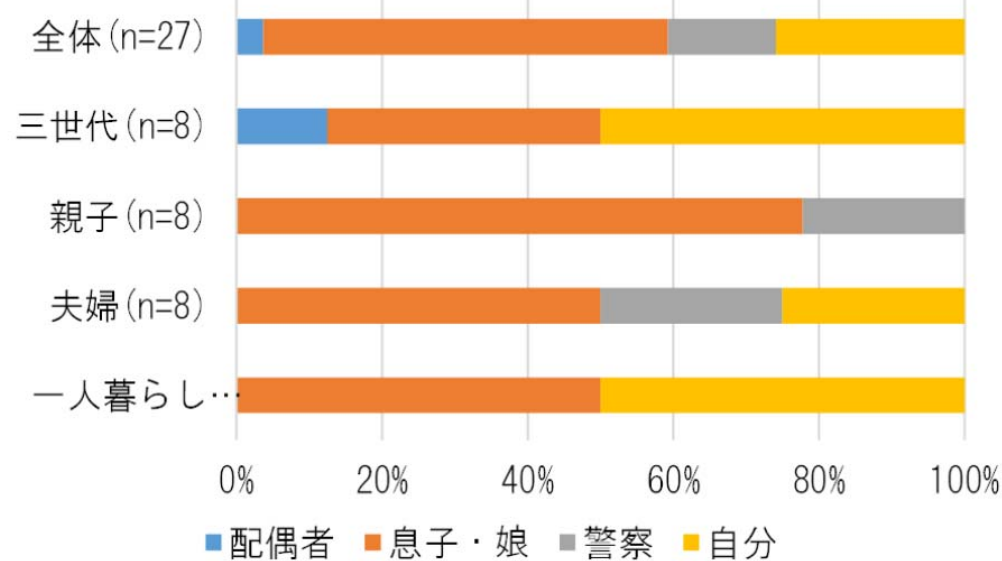
■免許返納の意向(事前調査)



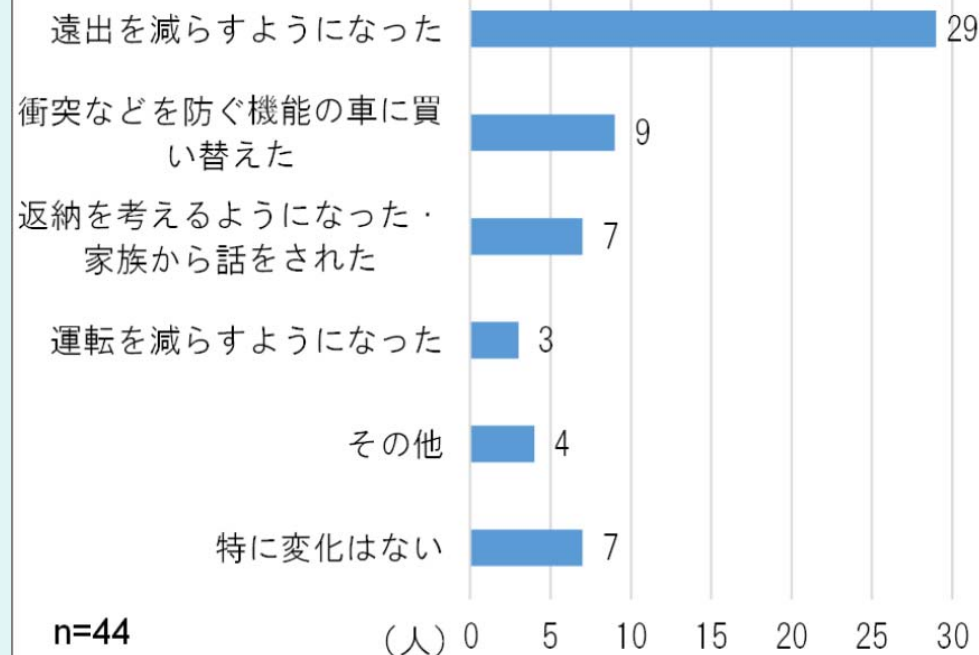
■免許返納の具体的な時期(事後調査)



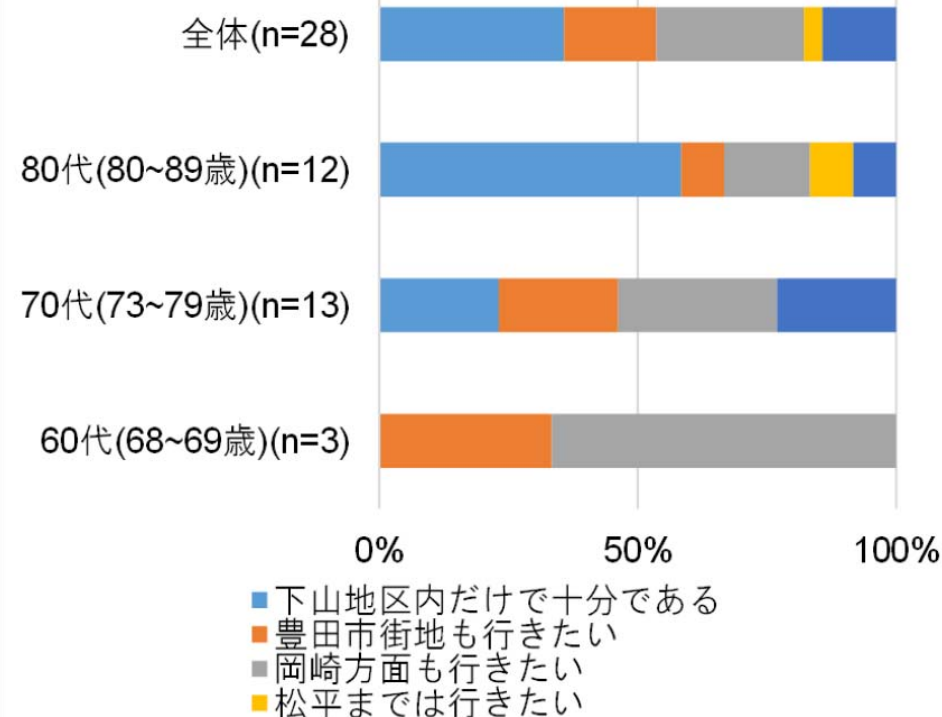
■誰に言われたら免許返納する？



■高齢者事故の報道による行動変化



■運転を続けたいエリア



- 返納意向のある人は事前調査では20%程度、事後調査では40%程度
- 家族(特に子)からの進言が効果的？
- 高齢者事故多発の報道により7割弱の人が「遠出を減らすようになった」と回答
- 地域限定運転の可能性を探った(事後調査)ところ、4割弱の人が「下山地区内だけの運転で十分」と回答

まとめ

(1) バス利用促進の効果と課題

- 少数ではあるが、体験乗車会をきっかけにICカード乗車券を使ってバス利用をし始めた人も存在
- ICカード乗車券の利便性は認めつつも、個人単独で利用することに自信が無い参加者も確認 ⇒ 明確な利用促進効果は得られず

(2) 自動車運転に関する課題

- 高齢者事故に関する報道による行動変化は少なからず見られる
- 家族(特に子ら)の進言が行動変容を促す効果が高いと推察
- 高齢者(特に80代以上)にとっては、生活圏内に限定した運転で十分であるという意向を確認(逆に、生活圏内の運転は必要)

(3) その他(地域コミュニティの役割など)

- クチコミによる波及効果を確認
- キーパーソンの高齢者のリードにより地域全体で交通行動を考えることの効果に期待(70代の「若い」リーダーが80~90代を引率)